

課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
17109010	造血システムにおける腫瘍性幹細胞およびその悪性化に関する遺伝子の同定	赤司 浩一（九州大学・大学病院・教授）	A
<p>本研究の目的は、(1) 免疫不全 NOG マウスを用いた造血器腫瘍性幹細胞の同定と、(2) マイクロアレイや sRNAi ライブラリーを用いた腫瘍化に関わる遺伝子探索とその分子構造の検討の二つである。</p> <p>(a) この目的に沿って、全体として、研究は進展している。(1) の進展は着実である一方、(2) の進展はやや遅れている印象を受ける。</p> <p>(b) (1) については期待された成果をあげており、すでに一部はトップジャーナルに掲載され、2006 年と 2007 年の ASH でも発表している。(2) は今後の進展を期待する。</p> <p>(c) (2) については別施設（東京医科歯科大学）との共同であるが、相互連携は保たれているように見受けられる。</p> <p>(d) 購入設備及び消耗品費は有効に活用されている。</p> <p>(e) このまま進めば (2) も期間内の目的達成は期待できる。</p> <p>今後の研究では他施設との連携をさらに強化し、上記 (2) により力を入れることが望まれる。</p>			